



夏になりました！ポーポキはパラソルの下で寝ころぶのが大好き！
あなたは？

Popoki's Hot News!



COMING SOON!



- 8.6 ヒロシマ・ディのシャドー、ダイ・イン&スカイプ！
生田川公園と神戸YMCA p.8を参照
- 8.7 ポーポキのミニ平和映画祭～夏！ グアムの映画&トーク！
神戸YWCA p.9を参照
- 8.9 映画「X年後」& トーク 伊藤監督&ろにゃん
神戸大学 p.10を参照



ポーポキのピース・ブック 3 や「ポーポキ友情物語 ～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、
元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近く
の本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸
YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。
ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのもちにゃんから届いた平和。

「選べる事の広がりがあることは、可能性や夢を追いかけられる平和かもしれ
ません。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

NEW! 瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYq> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

こどもの里

もりにゃん、ありぱんにゃん

7月11日、今年も私たちは留学生20名とともに、こどもの里の子どもたちに会いに行きました。こどもの里は大阪市西成区の釜ヶ崎にある子どもたちの集まる場所です。さまざまな子どもがそこに通っており、彼らにとってこどもの里は遊びの場であり、学習の場であり、生活の場でもあるのです。

そんなこどもの里に私たちが顔を出すようになってから何年か経ちましたが、今年は初めて「麻薬撲滅キャンペーンパレード」にも一緒に参加しました。蒸し暑い中、それぞれ自作のプラカードを持って釜ヶ崎の街をみんなで歩きました。私は、日本の麻薬問題について詳しくなく、「麻薬撲滅」の必要性を痛感しながら歩いていたわけではありませんが、一緒に歩いたおじちゃんたちは、「麻薬はいかん!」とか「釜ヶ崎から麻薬追放!」などと大声で叫んでいました。麻薬の問題は、釜ヶ崎では切実にすぐ隣の問題であることを感じました。最近は薬物の種類も多様になり、自分が思っている以上に本当は自分にとっても身近な問題だと思います。また、デモ（デモンストレーション）に参加したという学生も多かったようです。留学生も「Interesting!」とって珍しがって楽しんでいるようでした。楽しくみんなで歩く。日本でのデモは、強い主張がある人だけが行く、というイメージもありますが、問題を一緒に考えたいから一緒に歩く、というのもいいなあと思いました。

パレードを終え、冷たいジュースのご褒美をもらってから1時間、こどもの里で「元気」をテーマにプログラム。最初に、大きな円で自己紹介ののち、ポガ。あまりにみんなの元気がいっぱい、思わず留学生が、得意のゲームを急遽してくれました。少し落ち着いたので、どんなときに元気がなくなる? どうやったら元気が出る? という質問を、グループにわかれて話してもらいました。元気がないときは、おなかがすいたとき! という話から、家族が離れているときは元気がない、という小さな声。元気が出るためには、家族一緒に住むこと。元気がないときは、友達に声をかけてもらうことで元気になれるという男の子。悩みを話す、聞く、だけではなくて気にかけている、というサインで元気になれるときもありますね。最後はグループで、元気になる方法を身体で表現してもらいました。とっても難しいけど、留学生も子どもたちと一生懸命コミュニケーションして、子どもたちの思いを引き出して発表してくれました。

今回、私たちは釜ヶ崎に住むたくさん大人、子どもの「元気」にふれることができました。彼らの元気があれば、釜ヶ崎から麻薬がなくなるのも、そんなに遠いことではないのかもしれない…元気をありがとう! また来年行きます。



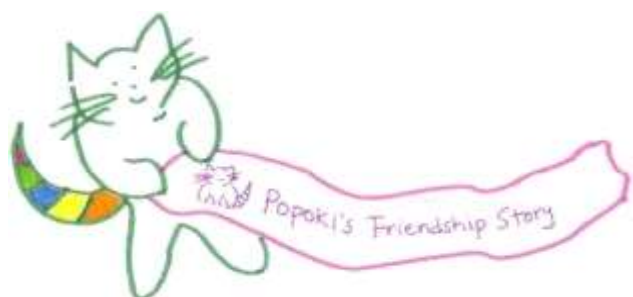
出発前



しろにゃんの自作プラカード



自分の言語で表現できるのは素敵だね！



ポーポキ インタビュー*

アスタにゃん
和訳 ろにゃん

2015 年 4 月のネパール地震（ゴルカ地震）



もっとも人的被害が多かった Sindhupalchok 地区の Bhotenamlang から

2015年4月25日の午前11:56頃、ネパールでマグニチュード7.8の地震が起こりました。史上最悪の震災となりました。統計による情報を好む方のため、下記に震災の詳細を提示します。

2015年4月のネパール地震・詳細

震源地: ランジュング地区の東方向

震源: 約15 km

死者数: 6,204 – 9,000 人

震災による雪崩によって18人が死亡しました

負傷者: 約14,000 人

影響を受けた人: 約800万人 (国連の推定)

家など住居を失った被災者: 280万人 (World Body 推定)

破壊された家屋: 130,033 棟 (国連推定)

圧倒的な被害の根底にある理由: 地理、急速そして無計画の都市化、脆弱な建築



カトマンズの Dharahara (城塞)



避難所がなかったので、人々は路上で避難した

ストーリーが好きな方に、以下のストーリーを共有したい。

2015年4月25日、私はアルバイトが早く終わらないかと思っていました。なぜなら、その晩にネパールへ飛び立つ予定だったからです。パスポート更新のために里帰りする予定でした。でも、仕事が終わる前にラインにマリエちゃんや佐藤さんからネパールにいる家族の無事を訪ねるメッセージをもらいました。ネパールの地震のこととその時点での詳細（震源地、震源など）を教えてくださいました。恥ずかしながら最初はネパール以外のところで地震が起こらなかったことにホッとしました。でも、上司にインターネットを調べてもらったときに考えが変わりました。その時点で家族（父、母、兄、叔母、いとこ）のだれかにつながるのと祈りながら電話しはじめました。大急ぎで家に向かい、ちょうど玄関についたときに父から電話が入りました。電話に出たら、涙声のあいさつしか聞こえませんでした。みんなの無事を聞くことができなかったのも、ますます慌ててしまいました。震災の前日、大学に

いるときに母から電話をもらったことを思い出しました。でも、伝言を保存しようとしたときに間違って母からの伝言を消してしまいました。そのメッセージは、「かわいい、かわいい、かわいいお嬢ちゃん、あなたが明日に帰る待ちどうしい！」このメッセージが最後に聞く母親の声にならないことを祈りました。とても気が重かったと同時になにがなんでもネパールへ行くという強い決心で空港へ向かいました。しかし、航空会社は私の出発を許可しませんでした。



お寺(カトマンズ)



修道院(Dolkha 地区)

地震が起こったとき、父親は犬と一緒に庭にいて、のんびり新聞を読んでいた。 (休日の父の習慣です。) 母は、姉妹と一緒に家族の友人の家に行っていて、兄はちょうど車を降りて友だちと昼ごはんを食べるところでした。発災やその直後、お互いの安否は全くわかりませんでした。連絡を取ろうとしましたが、全然通じませんでした。その晩、兄と母がそれぞれ徒歩で帰りついたときにやっと再会できました。彼らは無事でしたが、家はそうでもありませんでした。父によると、「私たち(市も国も含めて)は二つの意味でラッキーでした。」

- I. 地震は、ほとんどの人が学校や事務所ではなく、外にすることが多い土曜日に起こりました。
- II. 夜というほとんどの人が寝ている時間帯に地震が起こりませんでした。



Tudikhel 軍事基地で避難する人々



Durbar 学校：ネパールで最初にできた学校

「私は確かにラッキー！」それを信じていますが、それでも地震による被害を見たり感じたりすることや、将来について心配したりすることを緩和するわけではありません。飛行機から見下ろすカトマンズ谷の至るところにある青とオレンジ色のビニールシートでできたテントを一生忘れることはないでしょう。私の家をはじめ、お寺、世界遺産、宮殿広場、学校、博物館などの破壊されたインフラのイメージは私の脳裏から消えません。いつか、将来に自分の子どもにこういったものを見せることができないと思うと心が張り裂けてしまいます。この震災は、国にどのようなインパクトを与えるのか。観光業が被害を受けたので、経済はどうなるのか？ネパールは、災害が起こりやすい危険な国としてのレッテルを貼られるのか？素晴らしい山は、人命に危険な場所として考えられる？被災した地区は、ネパールの最も貧しい地域です。震災前からでも、ほとんどの家族は生存のために少なくとも女性一人を人身売買の対象にしていました。だったら、これらはもっとたくさんのネパールの娘たちは家族の家の確保のためにインドの売春宿に向かうことになる？そのようにして復興するの？それとも、近隣諸国や世銀、IMFのさらなる債務に溺れてしまう？

VISIT NEPAL 2015, 2016, 2017,...!!

**SUPPORT TO BUILD NEPAL
BY VISITING nepal**

ONLY 11 OUT OF 75 DISTRICTS ARE AFFECTED

ONLY 3 OUT OF 35 TREKKING ROUTES ARE AFFECTED

ONLY 1 OUT OF 10 UNESCO WORLD HERITAGE SITES & MONUMENTS ARE AFFECTED

ONLY 2 OUT OF 18 NATIONAL PARKS & CONSERVATION AREAS ARE AFFECTED

90% HOTELS are safe & in operation

NEPAL TOURISM BOARD
www.welcomenepal.com

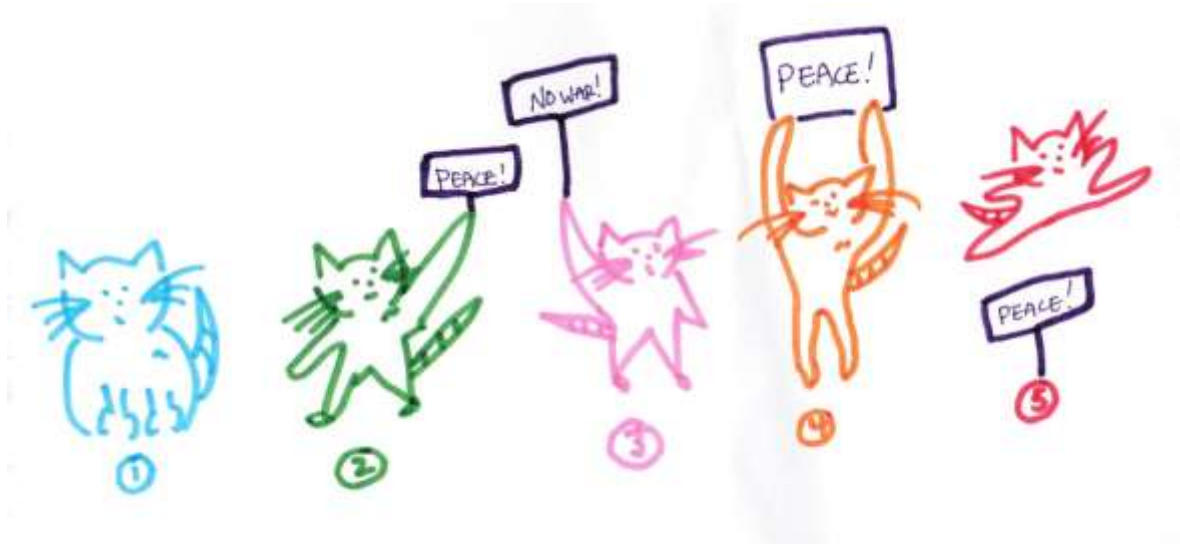
NATURALLY NEPAL
ONCE IS NOT ENOUGH

ネパール観光局は、ネーパルイニシアチブと共に支援活動を行っている

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 86

今月のテーマは、ピース！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. 次は、プラカードを左手にもって、高くあげましょう！
3. では、今度はプラカードを右手に持ちかえてさらに高〜く！
4. プラカードを両手で持って！まだ見えません！爪先立ちをしながら両手を高く上げてみましょう！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、

分間練習しまし。

一緒にいかが？



次回のポー会：9月24日 19:00～ 神戸YMCA (新神戸OPA2階) 201

7. 28 シアトル・エキスチェンジ・ポーポキ・ピース・ワークショップ。神戸学園都市YMCA, 10～12:00

7. 30 ポーポキ at ワイズメンズアジア地域大会 ユース・コンボケーション 京都

8. 6 8:00 広島ディー・シャドープロジェクト&スカイプ。8:00に生田川公園(新神戸駅南)の吾妻で集合。8:15にダイ・イン、8:40からYMCAでスカイプ開始の予定。p.8を参照

8. 7 ポーポキのミニ平和映画祭-夏！「グアムって、平和の島？」神戸YWCA p.9を参照

8. 9 上映会『X年後』&トーク 無料だが要申込み p.10及び下記のリンクを参照

http://www.org.kobe-u.ac.jp/svsc/documents/150809event_xmovie_2.pdf

8.10 ポーポキと一緒に平和を考えるWS 国際理解教育・開発教育研修会 JICA関西

10.17 平和と健康ワークショップ 兵庫医療大学

ポーポキの友だちからのお知らせ

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。すてきな写真集です。注文などは前田圭子さんへ。 m.dodo@h2.dion.ne.jp

平和について一緒に語りませんか？ Please join us to talk about peace!

広島・長崎の原爆と平和 Hiroshima/Nagasaki and Peace

When: 8.6 08:00~10:00

Where: 新神戸駅南の生田川公園 (熊内町 4 丁目あたり)。東屋の山側。

In Ikutagawa Park (south of Shin Kobe Station). We'll be near the river on the station side of the pagoda

神戸市バス 2 系統 布引・地下鉄 新神戸

Kobe bus #2 get off at nunobiki or Kobe Subway: get off at

Shin Kobe

8:00~8:15 影を描く・draw shadows

8:15 ダイイン die-in

8:30 神戸 YMCA へ移動 Move to Kobe YMCA

8:40 アメリカの反核活動家とスカイプをつないで、平和や核について語り合う

Skype with anti-nuclear and peace activists in the US



シャドー・プロジェクト

核戦争になれば、私たちも影になってしまいます。

核戦争は絶対にしてはいけません！

亡くなられた方々への追悼と平和への願いをこめて

私たちは、シャドーを描いてみました。



原爆によって影になった人 Shadow of person left by the Hiroshima bomb
http://www.pcf.city.hiroshima.jp/Virtual/VirtualMuseum/_Visit/Visit_9.html

Shadow Project

If there is a nuclear war, we will all become shadows.

We must never allow nuclear war to happen!

We drew these shadows,
praying for those who perished and for peace.



ポーポキと一緒に平和を創り出す集会 ～ポーポキのミニ平和映画祭 夏！ 「グアムって、平和な島？」

2002年度から不定期に開催している「平和を創り出す集会」では、事実をできるだけ正確に知り、市民の視点から、平和を創り出すために私たちに何ができるのか、ともに考え語り合い、行動の糸口を探すひとときを持ってきました。

平和ってなに？平和ってどんな形？
 映像で「平和」を表現することは可能？
 一緒に「平和」を考えてみませんか？
 ポーポキも参加するんだよ！



映画&トークセッションを企画しました。



日 時： 2015年 8月7日（金） 18:30 ～ 20:30
 場 所： 神戸YWCA チャペル 5階
 神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
 参加費： 無 料 （YWCA・YMCA 国際協力募金活動にご協力願います）
 主催：ポーポキ・ピース・プロジェクト、神戸 YMCA、神戸 YWCA

テーマ：グアム島は平和な島？ ポーポキと一緒に軍事化と植民地化を考えよう！

プログラム

*具体的な内容は当日まで発表しません！お楽しみに！

- 18:30 ごあいさつ
- 18:35 ピースマシンの旅 オキナワ編 （15分；日本語、英字スーパー）
 『岩波書店 DVD ブック Peace Archives オキナワ』より
 ポーポキと子猫のみみがピースマシーンに乗って、沖縄戦、基地問題などについて学ぶ。
 Living along the Fenceline 軍事化・植民地化編 （35分；英語、日本語スーパー）
- 19:30 コメント マイケル・ベヴァーカ先生 （グアム大学チャモル研究センター所長）
- 19:45 グループ・ディスカッション
- 20:15 コメント・共有・ふりかえり

お問い合わせ・お申し込み
 ポーポキ・ピース・プロジェクト
ronniandoopoki@gmail.com
 又は

神戸YMCA国際・奉仕センター（担当：松田）
 〒655-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
 TEL (078) 241-7204
 e-mail houshi@kobeymca.org



数々の賞を
受賞した
TVドキュメンタリー
映画化!!

上映会&対談

監督・南海放送ディレクター

神戸大学大学院国際協力研究科教授

伊東英朗 × ロニー・アレキサンダー

放射線を浴びた

X年後

無料・要申込

1954年、
南の海で水爆実験が行われた。
被ばくマグロは廃棄され、
漁師たちは病に倒れた。
その後、200万ドルと引き換えに、
すべての魚が日本の食卓にあがった！
「セシウム、機密文書、もろく砕けた人骨…」
見えてきたのは、X年後の驚くべき実態だった。

対象：大学生、一般

*お子様連れOK

主催・申込先：

神戸大学学生ボランティア支援室

E-mail: hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp

Tel: 078-803-6256

2015.8.9 (日) 14:00~17:00

会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館



ナレーション：鈴木真吾 構成：保井孝一郎 撮影：三本雄二／向井真樹 録音：山内豊美子 ミキサー：山口誠 音楽効果：善匠祐司 企画：日野明夫／宮部進 特別協賛：大・カス株式会社

会場：http://www.org.kobe-u.ac.jp/svsc/documents/takigawa_map.pdf

Popoki in the News

- ・ ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なにに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カテイング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10面





私にとってのポーポキ

ろにゃん

ポーポキ・ピース・プロジェクトをはじめてもうはや 9 年半。かなりの時間やエネルギーを注ぎました。この間に笑いも涙もたくさんありました。そして、今はポーポキのいない生活は想像できないぐらい、私の研究や教育活動だけではなく、遊びなどにもポーポキが浸透しています。ポーポキにもみなにゃんにも深く感謝しています。

私にとってのポーポキ。びっくりするかもしれませんが、私はさびしがり屋でよく自信をなくします。だからポーポキがいつしよに住んでくれることになった時は本当にうれしかった。もう20数年前のことですが、実は今もそうです。今は心の中にいるポーポキですが、私を叱ったり、励ましたり、勇気付けたりします。新しいことを始めようとするときはいつも応援してくれるし、さびしいときや悲しいときは慰めてくれます。

ポーポキ・ピース・プロジェクトも私にとってとても大切なものです。私は子どもの頃からずっと何らかの「平和」運動に参加しています。面白いと思う活動も好きな活動もたくさんありました。けれど、「これだ!」というものは今までありませんでした。ポーポキの活動はこれからどこへ向かうかはまだまだわかりませんが、私にとって極めて大事です。本当はみなにゃんにもっともっと参加してほしいし、いろいろなこと一緒にもっとしていきたいです。逆に押し付けたりしないように努力しているつもりです。中途半端かな。それも私です。

平和研究者としては失格かもしれませんが、平和の定義を探るにもポーポキが欠かせない存在です。人生のさまざまなステップに、異なった「平和」があるような気がします。しかも、形も香も色もそのときどきによって変わります。だから、ポーポキは私の心の平和をはじめ、世界平和を探ったり作ったりするための相棒です。

先日のポー会で、みなにゃんにポーポキの意味を聞いてみました。「気づき」。「とびら」。「解放」。「散歩ができたなら良い相手」。「つながり」。私にとってのポーポキはそれらのすべてですが、それだけではありません。ひょっとして、私にとってのポーポキは平和かもしれませんね。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!